

星を捨てて (2018)

メディア 映画
ジャンル 青春
製作国 日本
色彩 Color
時間 68分
初公開日 2019/08/24

【解説】

「魂を握り潰した男」の前田万吉とミュージックビデオを中心に活躍する菊地恭兵が結成した映像クリエイティブユニット“ブルガリア兄弟”が監督した青春映画。主演は京乃希和。学校に友だちが一人もない女子高生の水島弥生だったが、秋葉原には親友もいて、秋葉原こそ自分の居場所と感じていた。折しも秋葉原では、謎の人物ジョン・ケネラーの噂で持ちきりだった。いくつもの予言を的中させてきた彼が、ついに人類滅亡を予言、その時までいよいよ3ヵ月と迫り、秋葉原住人の間では、それは確実にやって来ると信じられていた。そんな中、ひょんなことからアイドル・グループに誘われ、デビューすることになった弥生だったが…。

【クレジット】

監督	前田万吉 菊地恭兵	(ブルガリア兄弟) (ブルガリア兄弟)
エグゼクティブプロデューサー	河村雅人	
プロデューサー	岩本光弘	
脚本	前田万吉 菊地恭兵	
撮影	前田万吉 菊地恭兵	
編集	前田万吉 菊地恭兵	
音楽	堀倫治	
主題歌	情熱マリ子	
照明	下村茂樹	
出演	京乃希和 菅原彩香 栗谷美貴 只野課長 白崎希咲 興津聖 水沢マイ 宮下玲衣 西口泰央 立川芳美	